

令和5年度認定こども園リーチェル幼稚園における学校関係者評価および自己評価の結果報告

自己評価アンケート集計日 令和6年3月 15日
 学校関係者評価委員会評価実施日 令和6年3月 25日

1. 園の教育目標

心身ともにたくましい子になろう

2. 認定こども園リーチェル幼稚園の目指す子供の姿

キラキラ笑顔で 明るく素直な子
 夢を抱き 何事にも挑戦する子
 みんなを応援でき 思いやりのある子

3. 学校評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	反省と改善点	評価	意見
1	保育の計画性	B	カリキュラム・マネジメントについての研修をおこない、質の高い保育を実践していくための基礎を改めて学び直した。子ども主体の保育をすすめていくために、月案や週案についての考察もおこない、計画の立て方、評価反省の仕方などの改善をおこなった。行事や保育内容についても、子どもの様子に合わせ工夫改善を繰り返し、よりよいものになるよう実践していった。	A	保育のやり方も年々変わりつつあり、時代に合わせた保育を実践し、常に質の高い保育を目指して、日々研鑽に務めていってほしい。 教職員も研修を積み重ねており、日々の改善が見られ、今後の保育に期待がもてる。
2	保育の在り方 園児への対応	B	子ども主体の保育について、教職員同士で話し合い、また、改善を繰り返し、保育の質向上を目指してきた。また、配置基準以上に職員を配置し、きめ細かいサポートができるよう体制づくりに努めた。 不適切保育についてのセルフチェックも年3回実施し、意識向上に努めた。	A	不適切保育が発生しないよう、園児一人ひとりを尊重し、個々に合わせたきめ細かな対応ができるよう保育の質をこれからも高めていってほしい。 これからも子供が安心安全な環境で教育保育ができるよう努めていってほしい。
3	教師としての 資質・能力 良識・適性	A	先述にもあるが、カリキュラム・マネジメントについての研修を取り入れ、保育の質向上に努めた。全職員対象におこなっているメンタリングマネジメント研修も3年が経過し、日々人間性向上に努めている。キャリアアップ研修についてもリモート研修等を効率よく使い、受講済み職員を増やすことができた。	A	園内研修により職員全体の資質向上にも努め、質の高い教育組織を築いていると感じる。また、協会や外部の研修にも積極的に受講し、教師の資質向上に努めている。
4	保護者への 対応	B	保護者参観を学期に1回おこない、また、コロナ禍で実施できなかった給食参観もおこなうことができた。また子育てサロン（座談会）を開催し、保護者と職員で子育てについて話す良い機会になった。参観等を通し、園での子供達の様子をみてもらったり、給食を食べてもらう機会を設け、貴重なご意見をいただくことができた。	B	参観や保育参加の機会を創ったり、初の試みである子育てサロンも開催し、子供たちの様子を見る機会を増やしてくれた。園とのコミュニケーションの機会についてまだまだ期待があるようなので、これからも園とのつながりが創出できることをより工夫していけるとよい。
5	研修と 研究	B	カリキュラム・マネジメントについて研修にて学び、より質の高い保育を実践していくにはどうしたらよいかについてを研究対象とした。	A	教育内容がより充実したものとなるよう教育研究に努めていって欲しい

*結果の表示方法

十分達成されている
 達成されている
 取り組まれているが、成果が十分でない
 取り組みが不十分である

A
 B
 C
 D

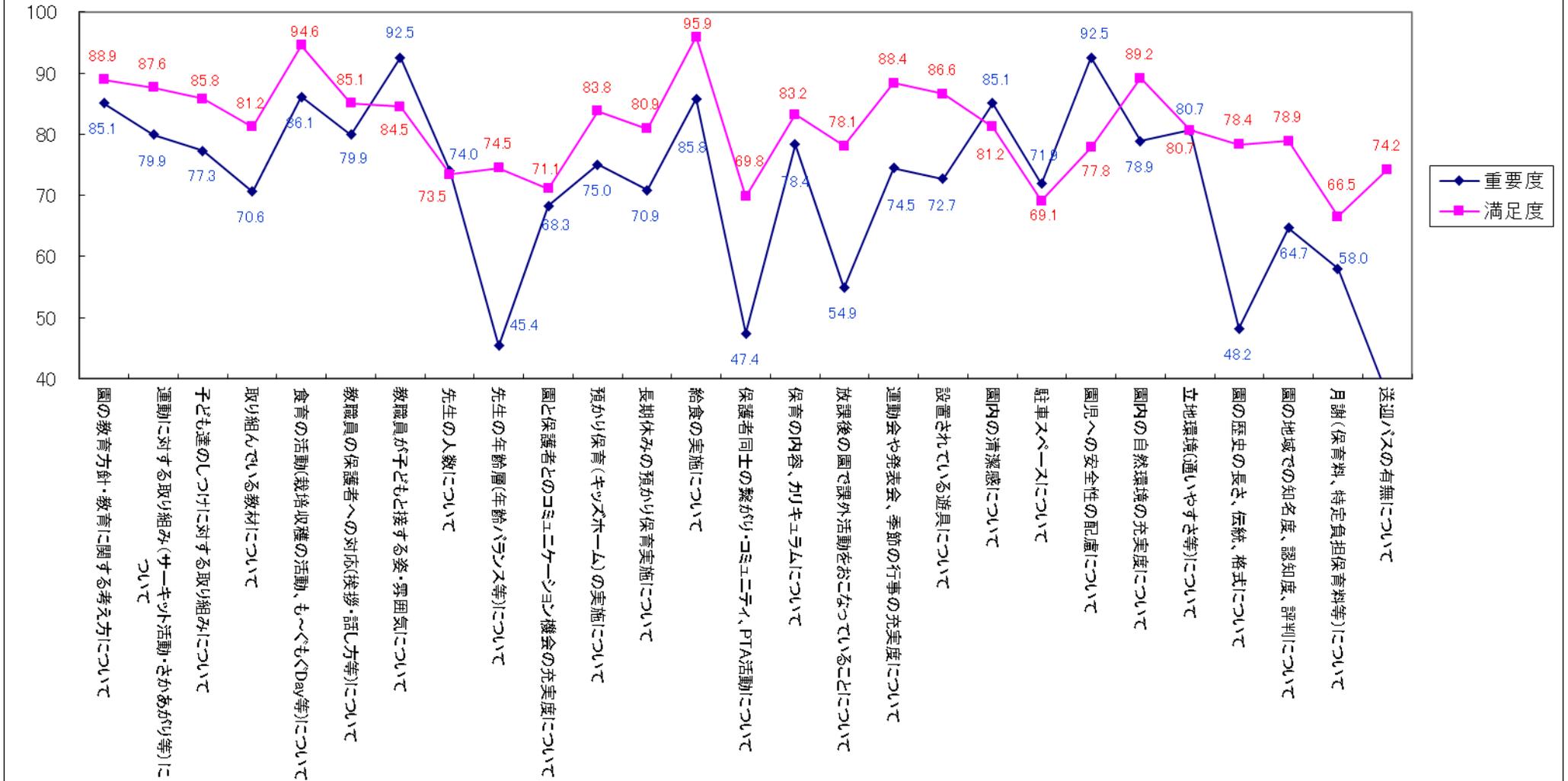
4. アンケートによる自己評価（教職員）および保護者による学校評価の結果

	項目	質問内容	自己評価		学校評価	
1	理念・教育方針	園の教育に関する考え方	79.5	75.9	88.9	87.6
		運動に対する取り組み	72.3		87.6	
		子ども達のしつけに対する取り組み	75.9		85.8	
		取り組んでいる教材について	69.6		81.2	
		食育の活動（栽培収穫の活動、も〜ぐもぐDay等）について	82.1		94.6	
2	教職員の取り組み	教職員の保護者への対応(挨拶・話し方等)について	73.2	67.0	85.1	77.7
		教職員が子どもと接する姿・雰囲気について	70.5		84.5	
		先生の人数について	59.0		73.5	
		教職員の年齢層(年齢のバランス等)について	65.2		74.5	
		園と保護者とのコミュニケーション機会の充実度について	67.0		71.1	
3	教育・保育に関するサービス	預かり保育の実施について	69.6	70.2	83.8	82.9
		長期休みの預かり保育実施について	73.2		80.9	
		給食の実施について	85.7		95.9	
		保護者同士の繋がり・コミュニティ・PTA活動について	67.0		69.9	
		保育の内容、カリキュラムについて	68.7		83.2	
		放課後の園で課外活動をおこなっていることについて	59.8		78.1	
		運動会や発表会、季節の行事の充実度について	67.8		88.4	
4	施設・設備・環境	設置されている遊具について	70.5	71.7	86.6	80.8
		園内の清潔感について	61.6		81.2	
		駐車スペースについて	76.8		69.1	
		園児への安全性の配慮について	70.5		77.8	
		園内の自然環境の充実について	78.6		89.2	
		立地環境(通いやすさ等)について	72.3		80.7	
5	その他	園の歴史の長さ、伝統、格式について	74.1	70.3	78.4	74.5
		地域での知名度、認知度、評判について	73.2		78.9	
		月謝（保育料、特定負担保育料等）について	63.4		66.5	
		送迎バスの有無について	70.5		74.2	

5. 保護者アンケートによる重要度と満足度の調査結果

※重要度とは幼稚園選びの際にどの項目を重視しているのかを示し、満足度とはリーチェル幼稚園の取り組みに対する各項目の印象(満足度)を示しています

保護者の満足度調査



6. 学校関係者評価委員会による総評

<p>昨年に引き続き、園の理念・教育方針に対する保護者の理解も高く、運動やしつけ、カリキュラムなど園の取組みに高く評価をいただき、特に食育については給食の実施を含め高い評価をいただいている。また、教育保育に関するサービスについても高評価をいただき、保護者も満足している。教職員の取組みにおいて、園と保護者とのコミュニケーションの機会の充実を期待しているようなので、園と保護者の繋がりを意識し園運営をしていくとより良い信頼関係が結ばれると思う。</p>	総評
<p>子ども主体の保育をこれからもさらに発展させ、こども園としてより満足いただけるよう、教育保育の内容を充実させ、時代に合わせた保育を積極的に挑戦していってもらいたい。 学校関係者評価委員会としての評価は A とする。</p>	A

7. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>教職員の資質向上、子供や保護者への対応の充実</p>	<p>保育の質向上のため、カリキュラム・マネジメントについて引続き学び、子供の想いに寄添った、子供の主体の保育をすすめていく。教職員の資質向上については、職員全体研修を引続きおこなひ、園内研修や外部研修を活用し、教職員一人ひとりの資質向上をはかり、園全体の教育保育の資質向上により一層努めていく。園と保護者との関わりやコミュニケーション機会についても、父母の会とも協力し、より充実したものとなるよう工夫改善をしていく。</p>
<p>園児への安全性の強化</p>	<p>事故防止委員会を中心に、事故防止や、午睡チェック、不審者対応、自然災害、園内感染、アレルギー対応などのマニュアルを再確認し、非常事態に落ち着いて対応できるよう定期的に研修を重ねる。また、専門家による職員研修を実施し、職員の意識向上をはかる。園内のケガについても同委員会にて防止策を検討し再発防止につなげるとともに、園内環境について再度見直しを図る。</p>
<p>駐車場、園への通園の問題</p>	<p>保護者への交通マナーの徹底をおこなう。 近隣の方々に迷惑がかからないよう登園・降園時のルールをわかりやすく見直し、徹底する。</p>
<p>施設・園庭等園内環境の整備・美化</p>	<p>園内の整理・整頓・清潔を常に意識し行動する。衛生面においても園内を清潔に保つことがとても重要である。 園内だけでなく、園庭環境においても自然を活かし、共生できる工夫をしながら、安全対策や事故防止対策も講じ、子供達が安心安全に、そして意欲的に遊び込める園庭環境の整備に努めていく。</p>